

宝生月浪能

特別会

宝生会の月例能として始まった演能会で、中堅以上の能楽師の厳しい技能の鍛錬の場です。

みどころ

新春、神による寿ぎの舞「翁」によって、新たな宝生月浪能がスタートする。翁・三番叟どもフレッシュなメンバーで、世の平安を祈り寿ぎを与える。

葛城の神が女姿で現れ、山伏に三熱の苦しみからの救済を求める「葛城」では、後シテの女神が小書「大和舞」で特殊な神楽を舞い、雪景色の中に清浄さを見せる。牛若丸の元服のための烏帽子を整える烏帽子屋ど、盗賊熊坂長範の二役をシテが演じる「烏帽子折」。子方の活躍にも注目。華やかな舞台で幕を閉じる。



13:00-

翁 烏帽子之祝儀

おきな えぼしのしゅうぎ

60

シテ 和久莊太郎

千歳 藤井 秋雅 笛 藤田 次郎 脇鼓 森 貴史
三番叟 野村 裕基 頭取 幸 信吾 大鼓 亀井 広忠
面箱 石田 淡朗 脇鼓 住駒 匡彦

「『翁』は私にはまだ早いと思いますが、有難くもこの特別なお役を頂戴したからには、別火精進して身を清め、心穏やかに当日を迎え、伝承通りにきちんと舞い勤めます」



14:00-

狂言 「鶯」 野村 万作

— 休憩十五分 —

14:45-

葛城 大和舞

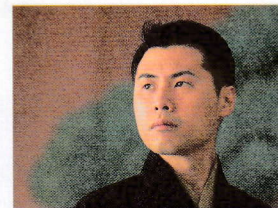
かづらき やまとまい

75

シテ 宝生 和英

ワキ 宝生 欣哉 笛 一噌 庸二 大鼓 安福 光雄
間 石田 幸雄 小鼓 森澤 勇司 太鼓 金春惣右衛門

「私が学生時代に八ヶ岳でホワイトアウトを経験したことを思い出します。死を感じると視界に映る影が生き物のように見えました。この山伏が遭遇した出来事は、人間が極限まで追い詰められた時の第六感だったのではないのでしょうか。実態の無い陽炎のような存在として、どう落とし込めるか挑戦したいと思います」



— 休憩十五分 —

16:15-

烏帽子折

えぼしおり

90

シテ 武田 孝史

子方 水上 嘉 間 中村 修一 笛 松田 弘之
ツレ 野月 聡 // 内藤 連 小鼓 住駒 匡彦
ワキ 殿田 謙吉 // 野村 太郎 大鼓 佃 良勝
間 野村 萬斎 // 飯田 豪 太鼓 小寺 佐七

「前半は子方が呼び掛けて登場し、さながらシテ同然の進行となります。後半の夜討の場面では『熊坂の長範六十三』を意識して前シテとは違う役を演じ分けるべく勤めようと思っております」

